

1 はじめに

本年度は、新型コロナウイルス感染防止の制限が緩和されていく中で、自分たちにできることを模索しながら「革命 ～一歩前進、その先へ～」をスローガンとして掲げ、生徒会役員を中心に生徒の手によるさまざまな活動を実践してきた。

2 資料

(1) 朝のあいさつ運動

毎週月曜日の朝、昇降口階段の前に立ち、あいさつ運動を行っている。今年度から月1回の明秀学園日立高等学校との合同あいさつ運動を開始し、生徒会役員と当番になっている常置委員会の生徒が参加している。また、11月1日には、さわやかマナーアップ運動に参加し、中小路小学校の児童と一緒にあいさつ運動を行った。



(2) 茜祭（文化祭）・合唱コンクール

今年度の茜祭・合唱コンクールは自校での開催となった。制限の緩和により、生徒の入れ替えはせずに実施できたことで、全生徒が各学年の合唱を聞くことができた。生徒会役員が主となり、各実行委員と連携を取りながら準備から運営までを行うことで、本番を成功に導いた。スローガン作成においては、Microsoft forms のアンケート機能を活用し、全校生徒の投票で決定した。



(3) 生徒会役員選挙

本校の生徒会役員選挙では、生徒会の3年生と選挙管理委員が中心となって活動している。立候補者と責任者に向けた説明や当番の割り当て等も生徒が主体的に行った。今年度より集計の際のミス無くすため、Microsoft excel を活用し、各学年のシートで共同編集を行った。今年度の選挙活動は、あいさつ運動、給食中の演説、政見放送、立会演説会を実施した。



3 成果と課題

今年度の成果は、タブレット端末を有効的に活用することで、生徒たちの自主的・実践的な態度を育てる取組ができたことである。

今年度の課題は、活動時間の確保である。今年度は多くの行事を実施することができたが、生徒会役員との事前打ち合わせの時間が十分に確保できず、先生方や生徒への周知が遅れてしまうことがあった。来年度は見通しをもった計画を立て、すべての行事において十分な事前打ち合わせの時間を確保し、生徒たちのサポートをしていくことが重要であると感じた。